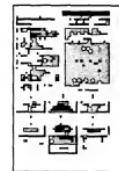


The Delphion Integrated View

Get Now: PDF | More choices...Tools: Add to Work File: [Create new Work File](#) View: [INPADOC](#) | Jump to: [Top](#) [Email this to a friend](#)**>Title:** **JP60147720A2: COLOR DISPLAY DEVICE****Country:** JP Japan**Kind:** A**Inventor:** FUJITA MASANORI;**Assignee:** SEIKOSHA CO LTD

News, Profiles, Stocks and More about this company

[View Image](#)

1 page

Published / Filed: 1985-08-03 / 1984-01-12**Application Number:** JP198400004203**IPC Code:** G02F 1/133; G02F 1/133; G09F 9/00;**Priority Number:** 1984-01-12 JP1984000844203**Abstract:**

PURPOSE: To obtain a bright observable display device by arranging a selectively reflecting filter and a light absorbing layer successively on the back of a display layer for displaying a picture in accordance with a transparent state and dispersed state.

CONSTITUTION: The display layer 1 is constituted of a liquid crystal panel using a dispersion mode, and a necessary segment pattern is formed. The selectively reflecting filter 2 is arranged on the back of the display layer 1 and the light absorbing layer 3, e.g. black paper, is arranged on the back of the filter 2. Incident light is transmitted through the display layer at the part A of the transparent mode of the display layer 1 and light of a specific wavelength, e.g. blue, is reflected by the filter in the obliquely lower direction, so that the observer detects the light as black light. The incident light is dispersed and transmitted at the part B of the dispersion mode of the display layer 1, blue light is reflected by the filter and then dispersed by the layer 1 again. The light transmitted through the filter 2 is absorbed by the light absorbing layer 3 and blue light is observed at the part B. A solar battery may be used as the light absorbing layer 3 and bright and observable color display can be attained.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

Family: None**Forward References:****Go to Result Set: Forward references (5)**

PDF	Patent	Pub.Date	Inventor	Assignee	Title
	US6229767	2001-05-08	Miyazawa; Eiichi	Seiko Epson Corporation	Display device and electronic watch using the device
	US5963282	1999-10-05	Battersby; Stephen J.	U.S. Philips Corporation	Liquid crystal display device and apparatus including such
	US5729313	1998-03-17	Mitsui; Seiichi	Sharp Kabushiki Kaisha	Reflection-type liquid crystal display device having holographic color reflective film bonded to light absorbing layer
	US5275133	1994-01-04	Sasaki; Toshio	Sasaki; Toshio	Apparatus for cooling internal combustion engine having a supercharger

 US5099343	1992-03-24	Margerum; J. David	Hughes Aircraft Company	Edge-illuminated liquid crystal display devices
---	------------	-----------------------	-------------------------------	--

Other Abstract Info:

None



[Nominate this for the Gallery...](#)

© 1997-2003 Thomson Delphion | [Research Subscriptions](#) | [Privacy Policy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact Us](#) | [Help](#)

⑫ 公開特許公報 (A) 昭60-147720

⑬ Int.Cl.⁴

G 02 F 1/133

G 09 F 9/00

識別記号

1 2 6

府内整理番号

A-7348-2H

6731-5C

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月3日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 カラー表示装置

⑯ 特願 昭59-4203

⑰ 出願 昭59(1984)1月12日

⑱ 発明者 藤田 政則 東京都墨田区太平4丁目1番1号 株式会社精工舍

⑲ 出願人 株式会社精工舍 東京都中央区京橋2丁目6番21号

⑳ 代理人 弁理士 最上 務

明 細 著

1. 発明の名称 カラー表示装置

2. 特許請求の範囲

(1) 透明状態と散乱状態とにより表示をおこなう表示体層と、その背後に設けた選択反射フィルタと、さらにつきその背後に設けた光吸収層とを含むカラー表示装置。

(2) 上記光吸収層は太陽電池である特許請求の範囲第1項のカラー表示装置。

3. 発明の詳細な説明

この発明はカラー表示装置に関するものである。

従来、カラー表示装置として発光型のものとして、カラー発光板を使つた表示装置や液晶に二色性色素を添加したいわゆるゲスト・ホスト型の表示装置などが知られている。しかしこれらはカラーハンダルや二色性色素に良いもののがなく、表示が暗かつたり、きれいな色が出ないなどの欠点があ

つた。

この発明はこうした従来技術における欠点を解決するもので、明るく見やすい表示装置を提供することを目的とする。

つきにこの発明の実施例について説明する。

第1図において、表示体層1は散乱モードを用いた散乱パネル、たとえば曲的散乱モード(DRM)またはフェイズエンジモード(POM)などのほか、強誘電体表示パネルであつてもよく、要するに散乱モードと透明モードとを切替できればよい。この表示体層1には必要な表示セグメントパターンが形成される。この表示体層1の背後に選択反射フィルタ2が設けられる。この選択反射フィルタ2は可視光の特定波長の光を選択反射し、他の光を透過するもので、具体的にはダイクロイックミラーなどの多層膜干渉フィルタが知られている。上記選択反射フィルタ2のさらに背後に光吸収層3が設けられる。この光吸収層3は黒色の紙などでよい。入射光は、表示体層1が透明モードの部分とでは表示体層を透過し、選択反射フィ

ルタ2で反射光が反射されるが斜め下方に向けて反射されるので、観察者にとつてはこの部分は黒く見える。一方表示体層1が散乱モードの表示では入射光は散乱して透過し選択反射フィルタ2で青色が反射され、再び表示体層1を通過して散乱されて出てくる。選択反射フィルタ2で透過した光は光吸収層3で吸収されるから、結局この部分は青色に見える。したがつて表示としては黒地に青色表示または青地に黒色表示ができることになる。

上記実施例で、光吸収層3は黒い紙などのほか太陽電池を設けてもよい。太陽電池として現在使用されているものにはモルフォスシリコン、または单結晶シリコンがあるが、これらを太陽電池として用いた場合における発電に寄与する波長は第2回図のとおりである。したがつてこの場合は、選択反射フィルタ2の選択反射する光の波長は、第2回図示の太陽電池の発電に寄与する波長からずらした方がよい。たとえば、青色のダイクロイックミラーを選択反射フィルタ2として用いた場合

の透過率を第2回図で曲線11Mで示す。

第5、4回は他の実施例を示し、液晶4をはさんで透明電極基板5、6が設けられ、これら基板にはそれぞれ帯状の透明電極7、8が互に交叉して設けられ、交叉した部分でマトリクス状に液晶表示素子9が形成されて表示体層10をなす。上記透明基板6上に上記液晶表示素子9と対応して反射。透過波長の異なる3種類の選択反射フィルタ11D、11M、11Yが交互に設けられている。この実施例では選択反射フィルタ11D、11M、11Yは透過光がそれぞれ赤、緑、青で反射光がそれぞれシアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)である。上記液晶表示素子9および選択反射フィルタ11D、11M、11Yは観察者の目の分解能以下のピッチたとえば150μm程度で形成され、3個の選択反射フィルタ11D、11M、11Yで一面素子12をなし一面素子として一定の色に見える。上記透明電極基板6の背面に光吸収層13が配置される。

この実施例の表示作用について説明する。

一面素子12の3個の液晶表示素子9がいずれも透明モードである場合は、斜め上方からの入射光は、選択反射フィルタ11D、11M、11Yで、シアン、マゼンタ、イエローがそれぞれ斜め下方へ反射されるが観察者の目には入らない。選択反射フィルタ11D、11M、11Yを通過した赤、緑、青の光は光吸収層13で吸収されてしまう。結果この画面は黒く見える。

一面素子12の3個の液晶表示素子9の中のいづれか一つが散乱モードで残りの2つが透明モードの場合には、散乱モードの液晶表示素子に対する選択反射フィルタ11D、11M、または11Yの反射光が見える。外周光利用効率をみると一面素子の3分の2の面積が暗く、3分の1の面積でカラー表示されるので、第5回図のようにやや暗くシアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)のカラー表示がなされる。

一面素子12の中の2つの液晶表示素子9が散乱モードで他の1つが透明モードの場合、シアン、マゼンタ、イエローの中の2つの光が混ざつて青

系色(B')、緑系色(G')、赤系色(R')の明るい色が表示される。

一面素子12の中の3つの液晶表示素子9が全て散乱モードの場合、シアン、マゼンタ、イエローが混ざつて白色(W)が表示される。

以上により多色表示がなされる。

この実施例においても光吸収層13に太陽電池を用いてもよいことはいうまでもない。

上述の構成よりなる本発明のカラー表示装置は偏光板や色素を使用しないので表示が明るくきれいなカラー表示ができる。

4. 図面の簡単な説明

第1回図は本発明の実施例の断面構造説明図、第2回図は太陽電池の相対出力およびダイクロイックミラーの透過率を示すグラフ、第3回図は他の実施例の断面図、第4回図は液晶駆動用透明電極の構成図、第5回図はダイクロイックミラーによるカラー表示の分光特性図である。

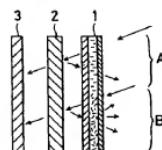
1…表示体層 2…選択反射フィルタ

3 … 光吸収層
10 … 表示体層
11a, 11u, 11x … 選択反射フィルタ
13 … 光吸収層

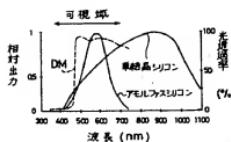
以上

出願人 株式会社 精工舍
代進入 弁理士 崇上

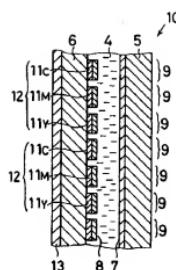
第1図



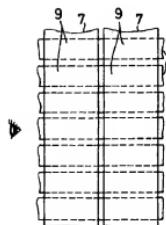
第2図



第3図



第4図



第5図

